

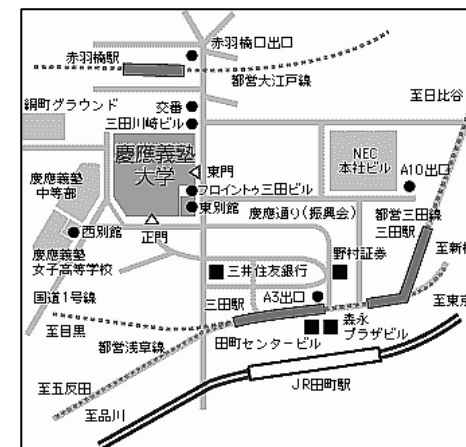
慶應義塾大学 2007年度 教員養成GP「理想の教師への航海日誌〈教職ログブック〉」
連続講座「社会・他者との対話」第4回

長沼 友兄氏(東京都立荻山実務学校・元校長)講演 児童自立支援施設とは何か ——その歴史と現状

2008年1月8日(火) 18時10分～20時00分

慶應義塾大学三田キャンパス 大学院棟311番教室

児童自立支援施設については、児童福祉法に「不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設とする」と書かれていますが、そこでどのような活動が行われているかを知る機会はなかなかありません。そこで、今回は、児童自立支援施設の歴史と現状、そして課題などについて、児童自立支援施設での校長経験もお持ちの長沼友兄氏をお招きし、話をさせていただくことにしました。児童自立支援施設には、学齢児童が入所しておりますので、この機会に教員になろうとしている人たちに興味を持っていただきたいと考え、企画いたしました。



JR山手線・京浜東北線「田町駅」下車、都営地下鉄浅草線・三田線「三田駅」下車、都営地下鉄大江戸線「赤羽橋駅」下車、いずれも徒歩7～8分

〈主催・問合せ〉慶應義塾大学教職課程センター
TEL. 03(5427)1618

車椅子等で御来場される場合は、予め御連絡いただければ係の者が構内を案内いたします。

参加無料・申込不要